



# グランシップマガジン [ジー] vol.50

GRANSHIP magazine  
Spring 2011

series わが羅針 第50回

綾戸 智恵

SPECIAL-2

歌舞伎をかじろう。

coming soonII

こどもの日。歌とダンスの小旅行を楽しもう。

しずおかアーティスト・リレー ㊤

現代洋画家 高木 麻由美

次世代を創る顔

グラフィック・デザイナー 葉田 いづみ

村松友視の文化漫遊㊤

SPECIAL 1

## グランシップの ワークショップ



「ギャラリーへ行く日」  
平澤まりこ 著／ピエ・ブックス



「道ばたに咲く」  
かわしまよう子 著／地球丸

グラフィック・デザイナー

葉田 いづみ

書体も、色もできるだけ抑えた  
素っ気ない感じが好きなんです。



その作品と本人は、まったく同じ空気感の中に  
いる。穏やかで、温度があつて、五感にやさしい。  
「凝らない、素っ気ない感じが好きなんです。」

実は文学部出身。出版社への就職が叶わず、なら  
ば別の角度から本に関わろうとデザイン会社に入  
社。当初は「周囲は美大出身者ばかり。美術教育を  
受けていないことがとにかくコンプレックスでした」。

しかし、言葉や行間を大事に扱うデザインは、  
彼女ならではのもの。「絵が上手いのは違う何  
かがあるのかな、と思えるようにもなりました」

漫画や映画のパフレットの仕事にも興味がある。  
「本を綺麗にとっておくだけで中を見ない、なん  
てことのないように、読む人にはボロボロになる  
くらい本をいっぱい触ってほしいと思います」

#### はだ いづみ

立教大学文学部卒業。卒業から3年後、グラフィックデザイン  
会社への入社を機にデザインの勉強を始める。その後、  
書籍を扱うデザイン会社に入社。2005年に独立。主に書籍の  
デザインを手がける。これまでの主な仕事に「はなのほん」  
(かわしまよう子 著)、「日々が大切」(大橋歩 著)、「渡辺有子  
のしあわせな食卓」(渡辺有子 著)、「乙女の京都」(甲斐  
みのり 著)、「タカフェ日記」(森友治 著)など。今年4月、同じく  
静岡県出身の甲斐みのり著(「G.」31号登場)による静岡の  
ガイドブック「甲斐みのりの静岡案内(仮称)」がmille book  
より発刊予定。1972年静岡県静岡市生まれ。



## Contents

次代を創る顔⑤⑥ 2  
グラフィック・デザイナー 葉田 いづみ

しずおかアーティスト・リレー③ 3  
現代洋画家 高木 麻由美

SPECIAL-1 特集 4

# グランシップの ワークショップ

coming soon I 10

静岡ちゃっきり寄席

series わが羅針 第50回 11

綾戸 智恵

「なりきり、ごっこ。」

coming soon II 16

こどもの日。  
歌とダンスの小旅行を楽しもう。

REPORT ショーウィンドウをアート空間に。 18  
「グランシップ アートコンペ2011」入賞作品決定!

SPECIAL-2 小特集 19

名作の名場面、解説つきでおいしく。

歌舞伎をかじろう。

essay 村松友視の文化漫遊⑤ 22  
「架空の時を味わう」 画/風鈴丸

Love Granship その、愛すべき美空間 02 24  
「光と、影と、陰と。」

information a-go-go 26~30

- 公演情報
- Just Finished! / 「奥田英人&ミッキー・カーチス」
- プレゼント ●友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS
- SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room

表紙アート●望月 通陽 作品タイトル:『予感』  
木彫に向かう心のありかたは、他の素材の彫刻では  
味わえない独特の静かさがある。本作「予感」には  
桂を選んだ。この木のほんのりと赤味を帯びた  
肌理のこまやかさは、彫刻刀をいくらかねったりと  
受けとめて心地よい。彫るほどに鎮まるものがある。

(2009年1月制作)

良いものを、より身近に。

## ギヤツベ ペルシャじゅうたん 展示場

常設のペルシャじゅうたん専門売場としては静岡最大級。  
紺文は良いものを、より身近に、より豊かな暮らしをご提案いたします。



こんぶん  
**紺文**  
きもの

●お問い合わせは紺文まで  
**TEL.054-251-4147**  
<http://www.konbun.co.jp/>  
【時 間】10:00~19:00 【休商日】毎週水曜日  
〒420-0858 静岡市葵区伝馬町16-7

電ビル ● 新静岡駅 ..... NHK文化センター  
御幸町通り トップビル スルガ銀行 静岡銀行  
丸井 ● 109 伝馬町通り 紺文  
丸井 ● 丸井 伝馬町小学校  
松坂屋 ● GS  
JR静岡駅 国道1号

しずおか 32  
アーティスト・リレー

現代洋画家

高木 麻由美

次回  
美術家  
松浦 澄江さん



「地球の分化」 2010年  
キャンバス/油彩画 サイズ/天地000mm×左右000mm

地球温暖化による  
気温の上昇  
南極の氷河が溶け  
海水の水位が上がり続けている

世界中で天変地異が起きている  
地球の未来が恐怖・絶望で覆われる

地球の地形は変化し続ける  
地中の変動、そして地球の分化が起きている

タカギ マユミ ● 1970年静岡市生まれ。個展/藍画廊、ギャラリー四季、アート  
カゲヤマ画廊、静岡県立美術館・県民ギャラリー、しずおか信用金庫・ゆめ空間  
ギャラリーほか。展覧会出品/「第9回日本美術の輸出展」in New York、  
ギャラリー青城、ART Santa Fe 2010、SALON ART SHOPPING 2010 ほか

# グラシップの ワークショップ

おもしろい！のタネをまく。  
もっと！の芽をそだてる。

## グラシップはワークショップ、でもある!?

ワークショップ、という言葉を知って聞いたのはいつだろう。

日本で静かに広がり始めたのは、おそらく三十数年前。

その言葉が珍しくなくなったのは、ここ十年ぐらいだろうか。

もともとは仕事場、工房、という意味から

表現する人、鑑賞する人の枠組みを超えた共同作業の場だったが

今はもっと広義で、巷では実に多様なワークショップが行われている。

だけど、まだまだ…という分野がある。

なぜかぼつかり空いたジャンルもある。

そこをしっかりと補って、好奇心や創造のタネを撒いていこう。

それがグラシップのワークショップだ。

最良の布陣で、どこにもないプログラムをとどけよう。

それもまたグラシップのワークショップなのだ。

というわけで、まずは2011年度のメニューをのぞいてほしい。

そして、「ン？」と響いたプログラムに

今年こそ、今度こそ、参加してみてもいいだろう。







## 芸術を体験し、創作に参加する。 「気づき」の場としての ワークショップ。

グランシップでは、静岡県内の人々と共にここに生まれ育つ子どもたちに多彩で上質な芸術にふれる機会をおとどけたいと考えています。けれども、ただ公演を観に来てくださいたいというよりも、距離的に遠い方もいらつしやる。すし、心理的に遠い方もいらつしやる。そういう方々に提供するものの一つの形として、誰もが芸術を体験し、クリエイティブに参加できる「ワークショップ」があります。

ワークショップというのは、「気づき」の場です。五感を刺激し、眠っていた表現や創造の芽を育んだり、新しい興味につなげたり。私どもとしては、できればグランシップに足を運んで、アーティストの素晴らしいパフォーマンスを体感してほしいという気持ちがありますから、その「きっかけ」になればと思います。

### 子どもに、ときには指導者にも。 障害のある方、遠方には アウトリーチで。

グランシップの取り組みの特徴とし

では、まず、子どもに向けたプログラムが数多くあるということがあります。今年度からははじめての劇場Ⅱグランシップとして、上質なワークショップをより充実させていく予定です。

また、私どもでは伝統芸能にも力を注いでいます。伝統芸能は大切であるという言葉はよく聞きますが、では、どうするかということがなかなか聞けません。グランシップでは、能も、文楽も、そして、昨年からは歌舞伎も始めました。静岡が観阿弥ゆかりの地であることもありますが、能楽をはじめとした伝統芸能の素晴らしさを通じて、和の文化の素晴らしさや礼儀作

法などを自然に伝えられたと思っておりま

さらに初心者だけでなく、たとえば演奏家や指導者に向けた、レベルアップ、スキルアップのためのワークショップも行っています。あるいは地域の文化施設や学校に向いて行う「アウトリーチ」という形でワークショップを提供することもあります。そして、静岡県内にある公立文化施設の中核機関としてのプログラムも、グランシップならではの取り組みです。

### 力量あるファシリテーターによる 質の高いプログラムを。

最近では日本でも珍しくなくなったワークショップですが、玉石混淆の時代を迎えています。その先進国であるイギリスでもクローズアップされているのが「ファシリテーター」(進行役)の質です。舵取りを担うファシリテーターは、アーティストであればできる、教育者だからできるというのではなく、参加者と共に創造性を刺激する場をつくり出していく、そうした人材でなければなりません。グランシップではこれまで多くのワークショップを展開してまいりましたが、常にトップクラスのファシリテーターを招くように努めていきます。

また、ワークショップは、いわゆる芸術を体験するだけでなく、そこに人と人とのコミュニケーションも生まれ、国際交流が生まれます。芸術を通じて他国の人とも自然にふれあえる——そうした機会も大切にしたいと思っております。

## グランシップのワークショップとは？

グランシップ館長 田村 孝子



こども

それでもまだ子ども向けのプログラムというところ、子どもだまし“のように思われがち。しかし、グランシップでは常に大人が十分に楽しめるものであることが基本としていいる。「むしろ子どもたちにこそ、質の高いものでなければ。一流の方にふれることで、頭ではなく、身体で感じてほしい」と思っております。」（館長）

また、今年度も（はじめての劇場Ⅱグランシップ）としてアウトリーチも含め、上質で多彩なプログラムを展開していく予定だ

欠かせない。そこでワークショップでは、そうした人々を対象としたワークショップも行っている。



子供のためのシェイクスピア 演劇ワークショップ(アウトリーチ) 2009年より毎年開催  
講師／山崎清介 コミュニケーションゲーム  
を通じて演劇表現の楽しさを体験。→ [A](#)

→P19~参照

→P16~参照



●毎年ゴールデンウィークにおとどける、こどものための創造大空間。  
'09年の「楽がき」、昨年の「布、毛糸、フェルト」に続き、今年は「光と影」が  
テーマ。アカリの面白さを体験しよう! **入場無料** **→P16~参照**



# リア ウ チ

県内の音楽指導者や小学生を対象にコミュニケーション能力や創造力を養うプログラムを開催。音楽家としての活動を広げる一助になる企画として毎年好評を得ている。また、50近くある県内の公立文化施設の中核機関の立場から、各施設の職員を対象としたワークショップも昨年度から始まった。グループディスカッションの後、企画立案ワークショップを行い、優れた企画を所属館で実現しようというものだ。

「数多母あれど、わが母に勝るものなし。地域が豊かになることがそこに住む方にとって何よりも大切なことだと思っています。」  
(館長)

対して、その生活の場に向いて働きかけていく。それが「アウトリーチ」と呼ばれるスタイルだ。

距離的に遠い人、障害のある方々のもとへ出張して公演を行ったり、あるいは学校の教室など、活動の場でレッスンしたり。だから、いつもの教室に世界的なアーティストがやってくる！そんな夢のようなできごとが起こってしまう。

「興味がないから」「わからないから」という壁を取り除くためにも、今後広げていきたい取り組みでもある。

グランシップの活動の場は、グランシップの中だけのものではない。日頃、芸術や文化にふれる機会に少ない人々に



**連詩をつくろう! ワークショップ** 2010年11月  
毎年11月にグランシップで開催している「しずおか連詩の会」が、ワークショップとして小学校へ。ことばや創作の楽しさを知るきっかけとなった。→C



**福田進一のギタークリニック** 2008年5月  
県立静岡高等学校に県内高校のギター部などが集結。世界的ギタリストのレッスンを受けた。



**文化施設職員のためのアートマネジメントセミナー** 2010年11月～2011年2月/全8回  
ファシリテーター/渡壁 輝 公立文化施設職員を対象とした公演等の企画立案ワークショップ。

## B 音楽家と指導者のためのワークショップ

8/26(金)・27(土) リハーサル室

講師/マイク・スペンサー、クマ原田ほか 対象/音楽家、音楽指導者

●ファシリテーター、人材を育成するワークショップ。2日目には「こどものためのワークショップ」進行サポート役として、実践の場を体験する。

参加費: 大人(2日間) 2,000円 こども(27日のみ) 500円

## E グランシップ静岡能 能楽入門公演

8/28(日) 14:00 中ホール・大地

講師/観世流能楽師

●前半は「わくわく能楽教室」参加者による謡と仕舞の発表を、後半は能楽師による能のお話や解説を交え、能舞台を堪能する。

参加費: 1,000円(往復はがきによる事前申込制・6/1～7/22)

## わくわく能楽教室

6月～8月 リハーサル室 他

講師/観世流能楽師 対象/小学生～大学生

●礼儀や所作、立ち振る舞いから学ぶ基礎講座。全10回程度のお稽古の後、8/28の能楽入門公演にて謡と仕舞を披露する。

参加費: 高校生・大学生 1,000円 中学生以下 500円

## G おとみち ストリートダンスワークショップ

7/17(日)、19(火)、21(木)、24(日)、28(木)

8/2(火)、4(木)、9(火)、11(木)、14(日)、16(火)、18(木)

19:00～21:30 リハーサル室 他

講師/永田栄一(ギャングスター主宰)

対象/ダンス初心者～経験者

●全12回のダンスレッスンを経て、8/21の「おとみち」本番ステージへ!

参加費: 3,000円

## 音楽

楽器に触ったことがない…そんな人には、まず楽器に触る、その音を聴くところから。オーケストラを聴いたことのない人には、その楽しみ方を。そして、楽器を演奏する人には、ステップアップのためのレッスンを——「音楽」という芸術の楽しみ方が多様にあるのもグランシップならではだろう。

また、〈ジャズクリニック〉は、プロによるレッスンを受けた後、プロと一緒に本番のステージに立つて披露するという特典もあり、これもグランシップならでは。数ヶ月前から一流音楽家の指導を受けて本番を迎える真夏の音楽祭（グランシップ音楽の広場）などは、視点を変えれば、最大にして最高のワークショップといえるかもしれない。

## 伝統芸能

小中学校の学習指導要領に和楽器教育が盛り込まれてから10年近く経つ。が、どの学校でも和楽器にふれられるようになったかといえば、残念ながら決してそうではない。このように和の文化にふれる機会は想像以上に限られているのが現状だ。

そうした中、グランシップでは、観世流能楽



**わかる! 文楽入門講座** 2010年10月 公演当日に使われる人形と、文楽ならではの三位一体の動きを間近に鑑賞。実際に人形を操る体験も。→D



**グランシップ音楽の広場** 2008年より毎夏開催 静岡県ゆかりの演奏家300人が一堂に集う音楽祭。日本を代表する指揮者による情熱あふれる指導は、最高のワークショップ。



**スウィング・ジャズクラブ ジャズクリニック** 2007年より毎年開催 講師／奥田英人 楽器経験者を対象にプロがレッスン。本番当日ではビッグバンドのメンバーと演奏が楽しめる。



**能楽入門公演～わくわく能楽教室** 2000年より毎年開催（途中、改称あり）講師／観世流能楽師 能楽を多角的に楽しむためのレクチャー・体験型公演。謡や仕舞を稽古（全10回）し、本番で発表することもできる。→E



**ムノツイル・プラス 公開アンサンブルクリニック** 2010年10月 講師／ムノツイル・プラスメンバー（オーストリア）高校生と一般の2団体を対象に行った公開クリニック。その様子は200人が観覧した。



**上岡敏之のオーケストラ塾** 2010年8月同年10月に開催した「上岡敏之指揮ヴァーナル交響楽団」の指揮者本人によるワグナーとオーケストラに関する事前レクチャー。

### オペラ「カルメン」バックステージツアー

10/2(日) 11:00～

対象／オペラ公演(10/2開催)のチケット購入者

●オペラの舞台裏をおもしろおかしく解説しながら、案内するバックステージツアー。

### カレファックス・リード・クインテット演奏クリニック(アウトリーチ)

10/29(土) 対象／県内中学・高校

●中学・高校で楽器を演奏している生徒を対象に、クインテットのメンバーが直接指導。

### 連詩をつくろう!ワークショップ

(アウトリーチ) 9月～11月

講師／野村喜和夫ほか 対象／県内小学校

●連詩の楽しさ、創作の面白さを体験してもらおうと小学校の教室に出張。グループで言葉をつないでいく。

### わかる! 文楽入門講座

10/17(月) 17:00～

対象／文楽公演(10/17開催)のチケット購入者

●人形の仕組みについて解説。人形遣いの体験も。

### オペラ塾

●ウィーン・バーデン市劇場によるオペラ「カルメン」上演(10/2)のためのプレ・レクチャー。



# ダンス

がグランシップの面白いところだ。  
 〈ストリートダンスワークショップ〉は、今年で実に6年目の企画となる。これは夏のダンスイベント(おとみち)のステージを目指して、ストリートダンスのビギナーたちが基本を学び、ショーとして完成させていくものだ。一方、ダンス・バレエ経験者向けには、昨年、世界的なコンテンポラリーダンスカンパニー「ローザス」のダンサーによるワークショップが開催された。現役トップダンサーによる実演指導が、参加費(500円!)とはけた違いの経験になったはずだ。

世界的なコンテンポラリーダンスがあるかと思えば、アフリカンダンスもあり、ストリートダンスにも積極的、というの

師の協力を得て、開館以来、能楽の体験型公演(能楽鑑賞教室、能楽入門公演)を続けており、また、出前公演として能楽大倉流小鼓方宗家による〈小鼓ワークショップ〉も行ってきた。今年度から、これを発展させた企画として、伝統芸能を伝え広めていくことを目的とした〈伝統芸能普及プログラム〉もスタート。地域の学校・大学や文化施設においてワークショップや出張講座を開催していく予定だ。  
 同じく出前公演(宝井馬琴の講談教室)も息の長いプログラムだ。  
 さらに静岡ではグランシップだけ、という文楽公演では、事前に人形遣いを体験する(文楽入門講座)を開催。国立劇場の協力を得て、昨年から〈歌舞伎鑑賞教室〉も始まった。



おとみち ストリートダンスワークショップ  
 2006年より毎夏開催 ストリートダンスの基本からレッスン(昨年は全11回)。本番のステージでその成果を披露。→ **G**



歌舞伎鑑賞教室 2010年より開催 第一部では、舞台の魅力や見どころを出演俳優が分かりやすく解説。第二部で本格的な歌舞伎を楽しむ。→ **F**



小鼓ワークショップ(アウトリーチ) 2009年1月 講師/大倉流小鼓方(大倉源次郎ほか) 中学・大学生を対象に、能楽の歴史から小鼓の組み立て方を学び、小鼓体験も。静岡大学ほか3会場で開催。



## 宝井馬琴の講談教室(アウトリーチ)

講師/宝井馬琴 対象/県内小・中学校

- 2008年から毎年開催。発声のコツから、張り扇の使い方まで、日本伝統の話芸「講談」を見て聴いて体験。11年からは学校に出向く。

## ダンス ワークショップ 9月~3月

- プロからダンス未経験者の人まで、すべての人に開かれたダンスの交流ワークショップ。

## A 子供のためのシェイクスピア 演劇ワークショップ(アウトリーチ)

講師/山崎清介ほか 対象/県内小学校

- 声や体を使ったゲームを通して、演劇や表現の面白さを体験。

## オーケストラ塾

- サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団による演奏会(11/2開催)のためのプレ・レクチャー。

2011年3月現在の情報です。内容が変更になる場合がございます。

各ワークショップについての詳細は、決まり次第ホームページ <http://www.granship.or.jp/> にて発表します。または直接お問合せ(TEL054-203-5714)を。

# 静岡 ちやつきり 寄席

茶の香芳しい皐月の午後、  
話芸の旅をぜひつしよて。



「ちやつきり」とは茶切りのことで、「ちやつきり節」の詩を書いた北原白秋は、茶切りの小気味のいいハサミの音を聴きながら、「コレだ!」とばかりに膝を打ったに違いない。それにしてもチャキチャキとした切れ味のいい語感、話芸のひとつときにぴたり...というわけで、今年もお茶の薫りが広がる皐月の午後、東京で活躍している静岡県人たちが故郷に集結する。

今年のテーマは「旅は道連れ」だそうで、さて、旅の空でどんな嘶に出会ふやら。落語に講談、漫才と、多彩にして至極の話芸が誘う景色が今から楽しみでならない。静岡が誇る話芸の達人たちによる凱旋公演「静岡ちやつきり寄席」、ぜひ、あなたも旅のお伴に。

## 5月21日(土)

午後14時00分 開演 (午後13時30分 開場) **チケット発売中**

中ホール・大地 全席指定 一般 2,500円 学生 1,000円

柳亭楽輔(落語)



昭和28年生まれ。静岡市出身。静岡市立高等学校卒業。47年、四代目柳亭楽輔入門。楽輔と名乗る。62年真打昇進。現在、落語芸術協会監事。

橘家半蔵(落語)



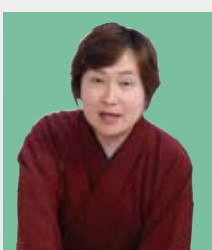
昭和29年生まれ。駿東郡小山町出身。50年、三代目月村家圓鏡現橘家圓蔵入門。平成2年、真打昇進。直木賞作家半村良より「半」の字をもらい、初代橘家半蔵を襲名。

春風亭柳朝(落語)



昭和45年生まれ。静岡市生まれ。日本大学政治経済学科卒業後、春風亭一朝入門。平成6年、第一回岡本マキ賞受賞。14年北とびあ若手落語家競演会で奨励賞受賞。19年、真打昇進。六代目春風亭柳朝を襲名。

宝井駿之介(講談)



昭和53年生まれ。静岡市出身。少年時代より田辺一鶴に師事。9才でチビ鶴としてデビュー。平成14年、駿之介に改名。22年宝井琴梅門下に移籍し、宝井を名乗る。

ホームラン(漫才)



昭和57年にたにし(静岡県出身)と勘太郎でコンビ結成。コント21世紀の名で日本テレビ「お笑いスター誕生!!」に出演。6週勝ち抜き銀賞を獲得。その後、改名。

春風亭一力(落語)



昭和59年生まれ。静岡市出身。平成21年春風亭一朝入門。前座となる。前座名、一力。

# 綾戸智恵

なりきり、**ベッピン**。

「映画に出るときは“女優や“思うとるんです。ジャズ歌っているときは“ベッピンや“思うとるんです。ゴスペルのときは、“世界一のプリーチャーや“と想っています。“ベッピン”の延長で、そこに社会的な責任があるわけやけど。綾戸智恵いうのは、単純で、なりきりの強い女なんですよ。」

譜面から音楽は見えない。

人間のエネルギーは使えば使うほど湧いてくる、不思議やね、とその人は語る。無尽蔵や、ともいう。誰よりもエネルギーを使つて、生み出し続けている人がそういうのだからそうなのだと思う。インタビュを通して圧倒的な人間力を体感したひとときは、ライブ後、満充電の心持ちで帰るファンに似ている。溢れでるエネルギーに触れることで、自分のエネルギーに替えることができる。そういう装置もまた人間は備えているようだ。

—ある番組で小学生の頃、カプセルに書いた夢はすでに全部実現しているとおっしゃっていましたか。

「もう、何十年前のことやからね。覚えているのは、アメリカのチップ制のバーに行つ



て、ピアノを弾いて、ワイングラスに1ドルとか10ドルをいっぱい入れてもらって、英語で暮らしたいと…。給料じゃなくてチップって言った。アメリカの映画を見たんだろうね。家に帰ると、ハニーと呼ぶ人がいて、ハーフを生む。それで、お母さんには家を買ってあげて…そんなことを書いたみたい。」

— それで最初にチップやギヤラを手にしたのは？

「(大阪)万博の時ですから、中二ぐらいだと思いますよ。当時、外国人のバーやレストランが大阪にたくさんできてましてね。そこで、チョコチョコと弾くと、マンシングのシャツやるわとか、五千円やるわとか。プロの人がいるのに、おねえちゃん、もう一曲弾いてえやとか言われて、いけるなあと思えましたね。手応えを感じたというか…。」

— その頃はピアノが主で、歌はおまけのようなものだったとか。

「ピアニストでしたから。ある日、伴奏する相手の歌手が野球かプロレスの選手とどこかに泊まりに行つてしまったんです。それで、なんかやつてえやと言われたんですけど、英語の歌詞は(ペーパー・ムーン)や(オータムリブス)ぐらいしか知らなくて、怪しいところは、シユビズバ、シャバダバって。15分ぐらい延々歌うていたのを覚えてます。」

— ずっとクラシックを勉強されていたことがついています。

「クラシックのピアニストになるつもりだったんです。でも、先生には手が小さいんでダメだつて。それと勝手に作っちゃうから。譜面

を見ないで弾くからね。モーツアルトの何番と言われたら、レコードを買いに行つて、聴いて、弾いてね。譜面は面倒くさくて…。譜面から音楽が見えてこないのですよ。私はモーツアルトみたいな天才じゃない。耳から聴かないとわからないんです。でも、小学校一、二年生の頃はとにかくピアノがうまくなりたくて、カーメン・キャバレロとか、えーと、なんだっけな…ダイヤモンドをいっぱい着けるおじさん…リベラーチェ！ああいう風になりたいなあと思っていましたね。リベラーチェって、モーツアルトみたいな顔して

るんですよ。ジャンルはわからないけど、とにかくパーツとピアノが弾きたかった。」

— アメリカのクワイア(聖歌隊)での経験が今の綾戸さんに影響しているとおっしゃる方もいます。

「自分では自分のことを切り刻んで見れないですね。もちろんケンカしたらケンカした歌になりますし、日々、いろんなことに影響を受けていることは間違いないです。ただ、ゴスペルという音楽はいいなあと思っています。ずっと昔ね、彦摩呂さんと喧嘩したことあるんですよ。もう年季が明けているからええけどね。彼が司会で、次は綾戸智恵さんとして〇〇クワイア。これはゴスペル風ですよ、ね」と

言われて、何言ううとんねん！と。私は〇〇風。は嫌いなんです。音楽をバカにするとか、偉そうに言うてるんじゃないです。ゴスペルやつているときは、ゴスペルや“思うとるんです。映画に出るときは、女優や“思うとるんです。ジャズ歌つているときは、べっぴんや“

思うとるんです。ママゴトで、お母さん風やねえ。言うたら子どもでも怒りますよ、ね。私も“ごっこ”の延長で、そこに社会的な責任があるわけやけど。ゴスペルやるときは、自分は世界一のプリーチャーや“と思うております。綾戸智恵いうのは、そんな単純な、なりきりの強い女なんですよ。」

— 歌を歌う時は、天に向つて斜め上に放つといいと小学生にアドバイスされていたシーンを見たことがありました。



「MY WAY」綾戸智恵 meets 原 信夫とシャープス&フラッツ(2010年4月発売) ¥3,000(税込)  
09年にファイナルツアーを終了した日本音楽界が誇るビッグバンドとのコラボは話題に。アレンジは6月のグランシップで初共演を果たす前田憲男氏。

術をするような人だったら、患者が死ぬから困るけど“って言いました。(笑)今の子どもは、どちらかというと俯いて歌うので、こうしたほうが気持ちいいやろって言うたんです。」

## 空っぽになった音楽の箱。

— これまでに忘れられないステージといえますと？

「河口湖で演奏しているとき、友人の森下(滋)がオルガンを間違つて弾いてて、おい、それちゃう！“と目で怒ったことがあるんですよ、そしたら森下が気づいて、すぐ直してくれたんです。そしたら緊張がほぐれたんかして、演奏中、突然三小節ほど眠つて起きたのを覚えているんです。座ったまま、ピアノを弾いてるまま、完璧に寝てたんです。そのとき、おい、やめて家に帰つたらどうや“って自分が言うんですよ。そしたら、だめだめ、がんばらなきゃ“ってもう一人の自分が耳元で言うんです。その“がんばらなきゃ“という声で起きたんですけど。」

— しばらく音楽活動をお休みされていますが、したが、再開されていかがですか。

「再開せな死ぬ、と思うたんです。我慢してがんばるには六カ月ぐらいが限界なんだなうてわかりました。六カ月は母の介護でいっぱいになって、十分母のことが埋まってきたら、音楽の箱が空っぽになっているのに気がついたんです。言うたらね、お味噌汁ばかり飲んでいたら、横に鯛の塩焼きがあるのを忘れていて、見たら鯛の塩焼きが食べなくなつて、しょうが

17歳で初渡米。以来、何度も渡米している。「映画の中のドリス・デイと同じように24時間ジャズ漬けで暮らしたかった。びっくりしたのは、二枚目は俳優だけやということ。不細工もたくさんいるなあと思いました。(笑)」

#### 【あやどちえ】

ジャズシンガー。両親の影響でジャズとハリウッド映画に囲まれて育つ。3才でクラシック・ピアノを始め、教会ではゴスペルを歌い。中学に入るとナイト・クラブでピアノを弾き始め、17才で単身渡米。91年に帰国後は、数々の職業を経て、大阪のジャズ・クラブで歌い始める。98年にCD「For All We Know」で鮮烈デビュー。弾き語りによる3枚目のCD「Life」は発売と同時に大ヒット。2001年、第51回芸術選奨文部科学大臣新人賞(大衆芸能部門)受賞。03年には、紅白歌合戦で「テネシー・ワルツ」を熱唱。芸人顔負けの爆笑トークを交えながら、ジャズ、ポップス、j-popなど幅広いレパートリーを巧みに取り入れた個性的なステージは、多くのファンを魅了している。08年7月、デビュー10周年記念コンサート終了とともに、母親の看護に専念するためコンサート活動を休止し、09年9月、コンサート活動を再開。1957年大阪生まれ。



なくなつて…食べたろうまかつたです。」

——再開して変わったな、と思われることはありますか。

「あまり自分ではわかりません。だから、私、仲良くしてくれてるファンの子に、今日、どうやった？ って電話するんです。そうすると、綾戸節っていうのはこういうフリースだよね。って言われて、ああ、なるわ、自然になるわ。とか思つて。私の鏡はお客さんですから。」

——ファンといえば、村松友視さん、山下洋輔さんをはじめ、この誌面にご登場いただいた方々の中にも熱烈な綾戸ファンが多かったです。

「ありがたいですよ。口の付いている人間にいろいろ言うてもろて。私はね、社長に、お前、宣伝費いくら使ってるん。と言うたことがありますよ。口コミでここまでできましたからね。(笑)」

——六月のグランシップでのライブは、前田憲男さんとの初共演だそうです。ビッグバンドの楽しみとはどんなところにあると思われませんか。

「ここでもう来るねん、というのがジャジャン！と、よう来ますねん。そこが一番のよさかなあ。それもあんなオッサンが仰山一挙についてるのはゴージャスですよ。(笑)」

——以前、ピシッと揃った新札の百万円の束より、旧札の百万円のほうが好きだとおっしゃってましたが、ビッグバンドのよさと共通するものがありますか。

「あります、あります。新札だったらペロっとしたもんやけど、シワシワの旧札だったら、

ふわつと大きくあるでしょう。あんまり揃いすぎは嫌いなんです。(カウント)ベーシートの録音なんか、プーとか聞こえてるもんね。あれがええわ。アメリカにおる時は、夜、タダでビッグバンドを聞いてました。小っちゃいオッサンで、アルトのサクソ奏者で、ベニー・カーターという人がバンドを持っていて、ようタダで演つていたんです。それで歌わせてくれ！ 言うて、上からユニゾンで入ったことがあります。」

——初共演の前田憲男さんについてお聞かせください。

「大阪のオッサン！ という感じがね。(笑)」  
今回、ニヤツとしてくださったらゲットやろうね。それで、お客さんもゆるんでくれたらオツケーかな。私のライブでは、演奏じゃなくて話だけを聴きに來る人もいはるけど、何でもいいんです。歌の部分、バンドの部分、トークの部分、どつか気に入ってはるんやったら、それでいい。CDが好きや言う人も、コンサートが好きや言う人もいる。皆さんの楽しみ方で、一つの私は何個でもおいしい。グリコのおまけみたいなもんやね。そんなやつたらうれしいです。」

——最後に夢は全部叶えてしまったとおっしゃる綾戸さんの今後についてお聞きしたいのですが。

「いやあ、それはもう若返りしかないでしょう。こんな頑張つて、来年死んだらアホみたいや。もうちょっと長生きしたいわ。それで八十、九十になつて、若いヤツをアゴで使いたいわあ。(笑)」



**6/18** (土)

3月20日(日)発売開始

グランシップ ジャズライブ プレミアム  
JAZZ LEGENDS VOL.2

**前田憲男スペシャルビッグバンド  
with 綾戸智恵**

**17:30開演(17:00開場)**

グランシップ 中ホール・大地

全席指定／一般 6,000円 学生 1,000円

お得な年間セット券あり。詳しくはP27へ



# こどもの日。

## 歌とダンスの

## 小旅行を楽しもう。

### 回転木馬に乗って

### さあ、音楽のひとときへ。

音楽は、ふしぎだ。曲によって開かれる景色、連れてくる気持ちがあつたく違う。澄んだ音色に美しい風景を描いてうつたりしたり、晴れた日の遠出のような気分でわくわくしたり、夕暮れを思わせるメロディに切なさを感じたり…。次から次へと現れるシーンを心から楽しむ、そんな回転木馬のような音楽のひととき。それが「ゴールデンウィークに開催の『こどもの日コンサート』だ。

**第1部は「うた」。**  
あの名曲をお楽しみに。

まずは〈合唱〉の楽しみがいっぱいの第1部。ここでは静岡児童合唱団がブルガリアのソフィア少年少女合唱団と姉妹提携を結んでいる縁から、ブルガリアの美しい合唱曲をご紹介します。

さらに日本の名曲から山本直純作曲による合唱組曲『えんそく』をおとどけする。児童合唱という言葉をまだ耳にする機会の少なかった昭和39年当時、衝撃的ともいえる作品が登場。それがこのこどもたちのための合唱組曲『えんそく』（児童合唱と管弦楽）だったのだ。「こどもだからといってアメやチョコを与えるのではなく、児童合唱の限界に挑戦する」という狙いのもと生まれた本作は、作曲者いわく「ウルトラC」と呼ぶほどの難しさ。それを静岡が誇る実力派、静岡児童合唱団と青葉会スベリオルが新緑の5月の雰囲気たっぷりに歌いこなす。

**第2部の「ダンス」では**  
ステージに釘づけ！



第2部は一転、〈現代舞踊〉の世界へ。静岡を代表する舞踊団、佐藤典子舞踊団らによるステージは、キッズミュージカルの名作『葉っぱのフレディ』。中国公演でも好評を博した本作は、幼児から大人までが楽しめる魅力の仕上がり。

また、同じく「命」をテーマとした現代舞踊作品『深い河を越えて』も必見。古くから世界中に知られ、歌われてきた黒人霊歌を、独自のモダンジャズ&ジャズのエッセンスを盛り込んだ世界観でまとめるあたりはさすがだ。

ファイナーレでは、合唱と現代舞踊のコラボでみんなが知っている歌「小さな世界」（イツ・ア・スモール・ワールド）を楽しむ…というわけで、こどもの日のプレゼントは、大人にもいい贈り物になるに違いない。



# グランシップ こどもの日コンサート

歌とダンスのメリーゴーランド

5/5 木祝

15:00開演(14:30開場) 中ホール・大地

全席指定 一般 2,000円 学生・子ども 1,000円 ※学生は大学生以下かつ28歳以下  
※2歳以下入場不可

## 第1部

ブルガリアの歌「主の御名をほめたたえよ」／ブルガリア聖歌  
「アルファベット」／チェシュメディエフ作曲  
「2つのユーモラスなうた」／カウフマン作曲ほか  
「えんそく」／阪田 寛夫作詩・山本 直純作曲

合唱：静岡児童合唱団&青葉会スベリオル

指揮：戸崎 裕子・戸崎 文葉

ピアノ：山内 知子

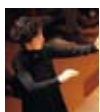
パーカッション：立岩 潤三

サクソ：鈴木 広志

ステージクリエイター：大岡 淳(SPAC)



戸崎 裕子



戸崎 文葉



山内 知子



立岩 潤三



鈴木 広志



大岡 淳



### 静岡児童合唱団&青葉会スベリオル (主宰／戸崎裕子)

1943年故戸崎舜裕が創設し、56年裕子が後継。70年NHKより独立し、「静岡児童合唱団」と改名。同年、ソフィア少年少女合唱団と姉妹提携。幼児から高校生までが在籍。10回のヨーロッパ演奏旅行を実施。2000年にシニアクラス「青葉会スベリオル」発足。バロック以前の合唱作品や民族音楽研究の傍ら、現代の日本人作品の紹介に努める。75年静岡県文化奨励賞、戸崎裕子はブルガリアの国際文化交流功労賞ほか、静岡市教育文化功労賞受賞。ブルガリアの最高位マダラの騎士勲章受勲。

<http://www.ongakuaobakai.com/>

## 第2部

「葉っぱのフレディ〜いのちの旅」／レオ・バスカーリア原作  
「深い河を越えて」

現代舞踊：佐藤典子舞踊団 & 佐藤典子舞踊研究所

作舞：佐藤 典子

台本・演出：児玉 道久

音楽構成：山口 清司・児玉 道久

美術：若尾綜合舞台

フィナーレ「小さな世界」



佐藤 典子



### 佐藤典子舞踊団&佐藤典子舞踊研究所

1950年磐田市に石井小浪静岡県支部として研究所を開設。86年、佐藤典子舞踊生活40周年を機に舞踊団活動を開始。ニューヨーク、中国での公演のほか、「NEW!!わかふじ国体」「浜名湖花博」「新国立劇場現代舞踊フェスティバル」などの舞台で活躍。「第24回国民文化祭しずおか2009」では「モダンダンスの祭典」「フリーダンスフェスティバル」に出演。2010年「中国・杭州青少年舞踊音楽祭」や「上海万博」の静岡ウィークに参加。10月にはワルシャワダンスシアターを招聘し、共演。

<http://www11.plala.or.jp/ns-dance/>

参加無料

合唱ワークショップ コーラスの広場 ～みんなで歌いましょう!～

5/3 火祝 14:00～15:30 大ホール・海

静岡児童合唱団体操と発声を体験。脳とカラダの活性化にもつながる合唱体験を一緒に。

- 参加費／無料(要事前申込)
- 対象／幼児～お年寄りまでどなたでも
- 指導／戸崎裕子・戸崎文葉
- 合唱／静岡児童合唱団&青葉会スベリオル
- 演奏／スーパーバロックアンサンブル
- ◆申込／電話・FAX・E-mailいずれかの方法(FAX・E-mailの場合は氏名・年齢・連絡先・参加人数を明記)で申込みのこと。

(財)静岡県文化財団 企画制作課 TEL054-203-5714 FAX054-203-5716 E-mail:info@granship.or.jp

入場無料

グランシップ こどものくに

～アカリとあそぼ!～

5/2 月～5 日 祝

10:00～16:00(最終入場15:30)

6階展示ギャラリー、交流ホール

3階共通ロビー、2階「えほんのひろば」



# ショーウィンドウをアート空間に。 「グランシップアートコンペ2011」 入賞作品決定！



●審査委員長の秋元氏。「どれくらい実現性があるかという、現場のフレキシビリティも選定条件の一つとして考えました。」

ハイレベルな作品に審査委員も興奮。  
表彰式の後には、アーティストトークも。

静岡県の人々にアートを身近に感じてほしい、静岡県出身等のアーティストたちに発表の場として活用してほしいという願いから、グランシップの南側ショーウィンドウのディスプレイ作品を公募。県内外から65作品が寄せられ、このほど採用作品が決定。2月3日には、映像ホールにて「グランシップアートコンペ2011」の表彰式が行われた。

審査委員の一人で金沢21世紀美術館の館長を務める秋元雄史氏は、「ギャラリーや美術館のコンペとは違い、ショーウィンドウという条件下でクリエイティブが心配されたが、お世辞抜きにレベルが高かった。入賞作品以外にも実際の展示を見てみたいと感じる作品もたくさんあり、次につながる第1回になったのではないかと講評した。また、表彰式に続いて、受賞者と秋元氏、切り絵アーティストの福井利佐氏を交えてのアーティストトークでは、それぞれの作品のポイントや創作活動についてのトークが展開された。

なお、今回「グランシップ賞」を受賞した4作品は、今年3月から3か月ごとの切替によりショーウィンドウで展示される。

## グランシップ賞

|                                                                                                                |                                                                                                     |                                                                    |                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                |                                                                                                     |                                                                    |                                                               |
| 展示期間 3月 4   5                                                                                                  | 6   7   8                                                                                           | 9   10   11                                                        | 12   1   2                                                    |
| <b>鈴木 絢</b><br>「ソウゾウ、アフレル」<br>*右側は布に向けて映像を投影、左には透明スクリーンを通して透ける映像を楽しむ仕掛け。                                       | <b>0×0×0</b><br>飯田起弘 駒橋透 鈴木翔悟<br>「Drops of Light」<br>*パンチグメタルを重ねると視覚的に変化する特徴から人が通り過ぎることで表情が変わる面白さを。 | <b>前澤 妙子</b><br>「記憶のううちえ」<br>*樹脂粘土とアニメーションを組み合わせて、幼い頃から続く空想の世界を創出。 | <b>堀 園美</b><br>「Out of focus」<br>*漆喰をパネルに塗り、駿河湾水の平線の絵を表現する予定。 |
| <b>奨励賞</b> ■大谷 宏安「音壁—Glass Audio Sculpture」 ■鳥居 千夏「鏡並木」 ■43「twinkling」 ■佐野 景子「空気の波」                            |                                                                                                     |                                                                    |                                                               |
| 審査委員 ■秋元 雄史／金沢21世紀美術館館長 ■佐井 国夫／静岡文化芸術大学デザイン学部教授 ■福井 利佐／切り絵アーティスト<br>■田村 孝子／グランシップ館長 ■甲賀 雅章／(財)静岡県文化財団広報プロデューサー |                                                                                                     |                                                                    |                                                               |

●受賞者を交えてのアーティストトークの風景。切り絵アーティストの福井氏(中央)は「バリエーションのある4作品が選ばれて、1年間、楽しみに足を運んでほしいと思います」と語った。





名作の名場面、解説つきでおいしく。

# 歌舞伎を

# かじろう。

相手の耳元に「なあ」と言うと、  
相手が「なあ」と領き返す。

そんな歌舞伎の場面から

「なあなあ仲」という言葉は  
生まれたのだそうだ。

しかし、どんな馴れ合いの仲も、

出会いがなくては始まらない。

というわけで、

今年も国立劇場から

歌舞伎ビギナーにぴったりの

プログラムがやってくる！



## 歌

舞伎はまず気軽に楽しむところから...  
というわけで、びっりの企画がある。  
それが国立劇場の人気プログラム『歌舞伎鑑賞教室』だ。

「歌舞伎のみかた」では、出演俳優が舞台の魅力や見どころなどをユーモアを交えて解説するのだが、今回、そのお役目を担うのが中村壱太郎（なかむらかずたろう）である。祖父は人間国宝坂田藤十郎、祖母は女性初の参議院議長を務めた扇千景、そして父は「義経千本桜」で主演を勤める中村翫雀（なかむらかんじやく）という、関西の名門・成駒屋の将来を担う花形若手だ。昨年も解説をつとめ、現役大学生らしい普通の感覚、目線の解説で話題を呼んだ。今回もカジュアルに、爽やかに歌舞伎の面白さや芝居の見どころを語ってくれるに違いない。

## ハタチの女方、中村壱太郎がつとめる

## 解説〈歌舞伎のみかた〉。



2010年 国立劇場歌舞伎鑑賞教室より

## 翫雀・壱太郎親子が共演。 奇抜な演出も見モノ！

## 親

を慕って、義経の家来である忠信に化けた狐（源九郎狐）と、真の忠信。この二役を一人の役者が演じわけ、また、狐の霊力を奇抜な演出「クレン」で表現するなど、「河連法眼館の場」は目を見張る場面が次々と現れ、初心者でもわかりやすく、十分に楽しめる一幕だ。しかも、この舞台、中村翫雀・壱太郎の親子共演で、というところもポイント。忠信と源九郎狐の二役を演じる父と、静御前を演じる息子。継承の芸能ならではの面白さと、そのときのキャストならではの空気感、パフォーマンスをぜひお楽しみに。



中村 壱太郎



中村 翫雀

## あらすじ

平家討伐で大功をあげた源義経。兄の頼朝から反逆の疑いを受けて、大和国（奈良県）吉野山にある河連法眼の館に身を隠していた。するとそこへ家来の佐藤忠信が相次いで二人、やつてくる。義経の恋人静御前のお供をしてきた忠信は、実は狐が化けた偽者。狐の目当ては親狐の皮が張られた静御前の「初音の鼓」だったのである...。

## 義経千本桜 「河連法眼館の場」

●発売日／3月13日(日) ●お申込先／グランシップチケットセンター tel.054-289-9000 ※一般・S席の中から販売 ●8/28能楽入門公演はチケット引換券のお渡し

◆演目：【昼の部】双蝶々曲日記 八幡里引窓の段  
(ふたつちょうちょうくるわにつき やわたのさとひきまどのだん)  
新版歌祭文 野崎村の段  
(しんぱんうたざいもん のざきむらのだん)

【夜の部】団子売 (だんごり)  
摂州合邦辻 合邦住家の段  
(せつしゅうがっぱうがっつじ がっぱうすみかのだん)

## D グランシップ静岡能(宝生流)

- ◆平成24年1月21日(土) 14:30開演  
中ホール・大地
- ◆出演：宝生流能楽師
- ◆料金：一般S席 5,000円  
一般A席 4,000円  
学 生 1,000円



「玉葛」



## 三大名作の一つ、

## 『義経千本桜』より感動の名シーンを上演。

**人** 生はじめての歌舞伎鑑賞に適した名作、名場面の上演で好評のプログラムより、今回セレクトしたのは、三大名作のひとつに挙げられる『義経千本桜』(よしつねせんぼんざくら)。



静御前(壱太郎)



源九郎狐(源雀)

義経とは、ご存知、源義経。牛若丸の幼名でも知られる平安末期の武将で、死後何百年もの間に彼ほど実像を離れた多くの伝説が生まれた人はいないだろう。

そして、『義経千本桜』もまた、エピソード集といえる作品で、その見どころは多彩。源平の戦に功績を立てた義経が異母兄である源頼朝と不仲となり、都を落ちのびた後の物語で、とくに今回上演される本作「河連法眼館の場」(かわつらほうげんやかたのば)は、満開の桜をバックに狐の親子の純粋な情が感動的に描かれた人気の高い場面だ。

◆ 三月十三日より チケット発売

**A**

### 国立劇場 歌舞伎鑑賞教室

六月二日(木)

- ◆ 午前の部：午前十二時開演(十時三〇分開場)
- ◆ 午後の部：午後二時三〇分開演(二時開場)
- ◆ 会場：中ホール・大地
- ◆ 料金：金..一般三、五〇〇円 学生一、〇〇〇円

河竹登志夫 監修

解説「歌舞伎のみかた」 中村 壱太郎

竹田出雲・三好松洛・並木千柳 作

尾上菊五郎 監修

「義経千本桜」一幕

「河連法眼館の場」

国立劇場美術係 美術

佐藤忠信・源九郎狐

中村 翫雀

静御前 中村 壱太郎

ほか

この一年、伝統芸能をおトクに楽しむなら!

**伝統芸能シリーズ セット券発売中! 150セット限定**

**A 3,500円 + B 1,000円 + C 3,500円 + D 5,000円 = 13,000円 ▶ 10,000円** 3,000円もおトク!

今回の歌舞伎と合わせて、能楽、文楽にふれる一年をおとどけるために、初心者はもちろん、通にもお楽しみいただける計4公演をおトクにお楽しみいただけるセット券が登場。

### **B** グランシップ静岡能 能楽入門公演

- ◆ 8月28日(日) 14:00開演  
中ホール・大地
- ◆ 出演：観世流能楽師
- ◆ 料金：1,000円  
(往復ハガキによる事前申込制、応募者多数の場合抽選)



「殺生石」 撮影：前島吉裕

### **C** 人形浄瑠璃 文楽

- ◆ 10月17日(月) 1日2公演 中ホール・大地
- 【昼の部】 13:30開演
- 【夜の部】 18:30開演
- ◆ 料金：一般 3,500円  
学生 1,000円  
昼夜通し券 一般 6,300円



新版歌祭文 野崎村の段



静岡の朝日テレビの番組の中で、静岡近辺の興味ある場所へ気ままに出かけ、そこで撮影した画面をスタジオで見ながら、埒もないことを喋るコーナーに出演するようになって、一年半近くたっている。行先はその時どきによって気ままに選び、おでん屋、ソバ屋、酒蔵、薩埵峠、巴川、居酒屋、映画館などとさまざまだ。行きつけの店の紹介というイメージをなるべく避け、紹介するその場所その店その人にした

人ぞ知る歴史ある店であり、学生時代から会社引退後、それからさらに時をへた今日まで通いつめるご常連客が多く、そのため近年は午後四時頃から八時頃までの営業時間にしたという。老齢のお客に配慮した時間帯であり、六時頃に入って満員だった場面に私なども何度か出くわした。ま、私くらい

## 架空の時を味わう

が平均的年齢のようで、駿河の旦那衆の中にちんまりとまじっている気分も、ちよいとばかり捨てがたいのだ。

そのおかげで、私はなつかしい場所やら人に出会い、あるいは新鮮な体験におどろいたりすることが多かった。先日、ちやつきり横丁にある「今年竹」という小さな店へ、静岡の現役最古参八十八歳の竹栄姐さんに来てもらい、三味線と唄を聴かせてもらおうという自分勝手を実現させてもらった。

私は、物書きになってすぐの頃、親戚の叔父に連れられて行ったのが最初だったが、その叔父も今はこの世にいない。叔父の仲間も歯っかけ状態だが、それでもながく通う常連が多いのは、美人のおかみさんと店のたたずまいがつくる雰囲気の魅力のせいだろう。

これは、「今年竹」のおかみさん岩井寛子さんと半ばいたずら心で目論んだプランで、おかみさんと親しい竹栄姐さんが快諾してくれたことで実現したのだった。「今年竹」もまた、青葉横丁からスタートし、ちやつきり横丁へ入ってから五十年という、知る

この日は、そのおかみさんに介添役をたのみ、竹栄姐さんから往年の華やかなりし静岡花柳界のお座敷の様子を聞くことができた。おまけに、「忘れ小唄」なんぞという面白い唄まで聴かせてもらい、贅沢な気分を味わった。

一流の料亭ではなく、ちやつきり横丁の小さな店というところがミソで、往年の花柳界の遊びには、重々しさやむずかしさを超えた、客と芸者が一体化して楽しむ、カジュアルな空気があったにちがいない。画面の中の私は、少しは芸が分かる者みたいな顔で映っていたが、叔父たちの世代から見れば軀がかたまり顔がひきつっていることがバレバレだろう。やっぱりむかしの遊び人はすごかったんだな…というの、竹栄姐さんに見せてもらったかつてのお座敷の光景から感じさせられた思いだった。

いやそれにしても、仕事は時どき、架空の時間のようなところへさそい込んでくれるものである。



【むらまつともみ】作家。東京生まれ。小学校～高校時代を清水（現静岡市）で過ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッセイ等、著書多数。『時代屋の女房』で直木賞、『鎌倉のおばさん』で泉鏡花賞受賞。





*Love Granship* 02

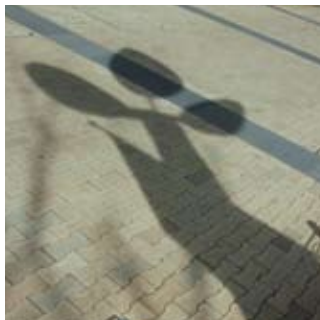
その、愛すべき美空間



大ホール・海



3階ロビー



1階エントランス

# 光と、影と、陰と。

明るさと仄暗さが織りなすもの

日本の美意識は、陰影を好む。月に叢雲をかけ、行灯に影絵を刻む。そして、そこにあるものをくつきりと象るのが太陽の光なら、やわらかく懐深く映し出すのは月の光の得意技だ。

さて、太陽の光が照らすグランシップの外観。しかし、その内側は月の光…ではないが、それに似た陰影の美に富んでいることをご存知だろうか。明るさは奥行きのある暗がりをつくり、ほの暗さは明るさをやんわりと引き立てている。来館者の動きに合わせて影も動き、そうした光の穏やかなリフレクションが感興の波を静かに揺り動かす。

谷崎潤一郎は、『陰翳礼讃』において、美しさはモノそのものではなく、モノとモノとによって創出される陰影の綾であるというようにことを語っているが、それはグランシップのあり方に重なることもできる。芸術そのものというよりは、むしろさまざまな創造活動との出会いによって喚起されるものこそが大事。心の内の陰影をそれぞれ楽しんでもらえる場であること。それもグランシップの使命の一つだ。



大ホール・海

## ご利用についてのご案内

[申込受付]

9:00～20:00 ※開館時間/9:00～22:00

[申込方法]

電話または当財団窓口にて直接お申し込み下さい。なお、予約受付を開始する月のお申し込みについては事前に「抽選申し込み」を受け付けています。くわしくは右記あてにお問い合わせを。

## お申し込み・お問い合わせ

TEL054(203)5713 FAX054(203)6710

財団法人 静岡県文化財団 利用サービス課

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 メールアドレス yoyaku@granship.or.jp

施設の空き状況は、ホームページでも検索OK! <http://www.granship.or.jp/>





# 公演情報

2011/3-2011/8

※3月現在の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。



チケット発売中

6/2<sup>Ⓢ</sup>

G

## 国立劇場 歌舞伎鑑賞教室



中村翫雀

中村吉太郎

- 午前の部 11:00開演(10:30開場)
- 午後の部 14:30開演(14:00開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 一般 3,500円 学生 1,000円
- \*セット券 10,000円 P27下記参照

→P19~参照



3/20日チケット発売

6/18<sup>Ⓢ</sup>

G Pコード130-868

## 前田憲男 スペシャルビッグバンド with 綾戸智恵

→P11~参照



前田憲男



綾戸智恵 ©Eishun Ikeda

豪華初共演がグランシップで実現! 前田憲男の編曲による華やかなビッグバンド・サウンドをお聴き逃しなく!

- 17:30開演(17:00開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 一般 6,000円 学生 1,000円
- \*セット券 8,000円 P27下記参照



入場無料

7/16<sup>Ⓢ</sup>

## グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル



昨年の様子

この夏も県内のアマチュアビッグバンドが集結。ゴージャスな音シャワーをたっぷり。

- 13:00~17:00(12:00開場)
- 大ホール・海
- 入場無料



入場無料

5/2<sup>Ⓢ</sup>・5<sup>Ⓢ</sup>(本粉)

## グランシップ こどものくに ~アカリとあそぼ!~



昨年の様子

ゴールデンウィーク恒例、家族で楽しむビッグイベント。今年は「明かり」をテーマに、見て、感じて、作って遊べる空間が出現!

- 10:00~16:00(入場は15:30まで)
- 6階 展示ギャラリー・交流ホール、3階 ロビー
- 入場無料

→P16~参照



入場無料

5/14<sup>Ⓢ</sup>・15<sup>Ⓢ</sup>

## グランシップ トレインフェスタ2011



昨年の様子

多彩な鉄道模型を中心に、Nゲージ体験やミニ列車乗車会、駅弁コーナー、クイズ大会など、鉄道ファンはもちろん、親子で楽しめる日本最大級の鉄道イベント。

- 10:00~17:00(5/15は15:30まで)
- 大ホール・海、中ホール・大地、6階 展示ギャラリーほか
- 入場無料



チケット発売中

5/21<sup>Ⓢ</sup>

G

## 静岡ちゃつきり寄席

- 14:00開演(13:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 一般 2,500円 学生 1,000円

→P10~参照



柳亭楽輔



橋家半蔵



春風亭柳朝



ホームラン



宝井駿之介



春風亭一力



チケット発売中

3/27<sup>Ⓢ</sup>

G Lコード43001 Pコード618-908

## 天装戦隊ゴセイジャー ファイナルライブツアー2011



©2010テレビ朝日・東映AG・東映

天装戦隊ゴセイジャーのファイナル公演。みんな大きな声でゴセイジャーを応援しよう!

- ①10:00~ ②13:00~ ③16:00~
- 大ホール・海
- 全席指定 S席 3,500円 A席 2,500円
- ※2歳以下膝上鑑賞無料



チケット発売中

5/5<sup>Ⓢ</sup>(本粉)

G

## グランシップ こどもの日コンサート ~歌とダンスのメリーゴーランド~



静岡児童合唱団 & 青葉会スベリオル



佐藤典子舞踊団 & 佐藤典子舞踊研究所

- 15:00開演(14:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 一般 2,000円 学生・子ども 1,000円
- ※2歳以下入場不可

→P16~参照



参加無料

5/3<sup>Ⓢ</sup>(火・祝)

## 合唱ワークショップ コーラスの広場

~みんなで歌いましょう~

→P16~参照

- 14:00~15:30
- 大ホール・海
- 参加無料(要事前申込)



ボランティアスタッフによる託児をご希望の方は、公演1週間前までに(財)静岡県文化財団企画制作課までご連絡ください。☎054-203-5714

※お預かりできるのは、2歳以上の未就学のお子様に限ります。※イベントによっては、託児サービスが利用できない場合がございます。



4/24(日)チケット発売

¥14<sup>Ⓢ</sup>

GLコード41565 PPコード618-983

## 仮面ライダー スーパーライブ2011

現在テレビで放映中の「仮面ライダーオーズ」が歴代ライダーと共に悪の組織と大バトルを繰り広げるアクションショー!!



- ①11:00開演 (10:00開場)
- ②14:30開演 (13:30開場)

■大ホール・海  
■全席指定 一般 3,000円  
※2歳以下膝上鑑賞無料

©石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映



5/21(土)チケット発売

¥21<sup>Ⓢ</sup>

## おとみち THE FINAL



昨年の様子

8回目を迎える夏の一大ダンスイベント。ダンスショーケースなど、迫力のパフォーマンスが、おとみちの最後を飾る!

■13:00~(12:00開場)  
■大ホール・海  
■500円

¥1<sup>Ⓢ</sup>・20<sup>Ⓢ</sup>

## 江川坦庵と幕末の静岡展

静岡県出身で、幕末の軍事改革をすすめた江川坦庵に焦点をあて、その人間性も含めて紹介する。

- 10:00~17:00 (入場は16:30まで)
- 6階 展示ギャラリー
- 一般 300円
- ※大学生以下・70歳以上は無料



江川坦庵像



5/1(日)チケット発売

¥7<sup>Ⓢ</sup>

## グランシップ「音楽の広場」



昨年の様子

300人の大オーケストラによる真夏の音楽祭。迫力ある演奏を今年もぜひ!

- 【指揮】広上淳一
- 【管弦楽】音楽の広場オーケストラ
- 15:00開演(14:00開場)
- 大ホール・海
- SS席 3,000円 S席 2,500円
- A席 2,000円 学生・子ども 1,000円
- ※3歳以下入場不可



5/8(日)チケット発売

¥7<sup>Ⓢ</sup>・30<sup>Ⓢ</sup>

## グランシップ 世界のこども劇場2011 子供のためのシェイクスピア『冬物語』



子どもから大人まで誰もが楽しめるシェイクスピア劇の決定版。今回はロマンス劇の傑作「冬物語」。お楽しみに!

- 【脚本・演出】山崎清介
- 【出演】伊沢磨紀、佐藤誓、山口雅義、戸谷昌弘 ほか
- 17:00開演(16:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 一般 3,500円 学生 1,000円
- 親子ペア 4,000円(一般1+学生1)
- ※未就学児入場不可



5/15(日)チケット発売

¥3<sup>Ⓢ</sup>・5<sup>Ⓢ</sup>

## グランシップ 世界のこども劇場2011



ジンバブエ「アフリカンフェアリーテイル」

©Martin Johann Krennbauer



ドイツ「すずの兵隊」

スウェーデン「KLOSS」

第2回目となる今年は、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ジンバブエ&オーストリアの児童劇団がやってくる!

- 【演目】スウェーデン「KLOSS」
- デンマーク「雨だれ」
- ドイツ「すずの兵隊」
- ジンバブエ+オーストリア
- 「アフリカンフェアリーテイル」

■10:00~(予定)  
■中ホール・大地、6階 交流ホール  
■大人 1,000円 子ども 500円  
※子どもは1歳以上中学生以下

## 伝統芸能、JAZZ、クラシックを遊びつくす! 3つのアートプラン。

### 伝統芸能シリーズセット券 限定150セット 残りわずか

|                                               |                                         |                                                  |                                                 |                                                   |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| ●歌舞伎鑑賞教室<br>6月2日(木)<br>11:00~14:30~<br>3,500円 | ●能楽入門公演<br>8月28日(日)<br>14:00~<br>1,000円 | ●人形浄瑠璃 文楽<br>10月17日(月)<br>13:30~18:30~<br>3,500円 | ●グランシップ静岡能<br>2012年1月21日(土)<br>14:30~<br>5,000円 | 全部で13,000円のところ<br>セット券 <b>10,000円</b><br>(約25%割引) |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------|

### ジャズセット券 限定100セット 一般発売日:3月20日(日)

|                                                                    |                                                                      |                                                  |
|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| ●前田憲男スペシャルビッグバンド<br>with 綾戸智恵<br>6月18日(土) 17:30~<br>中ホール・大地 6,000円 | ●SIMPLE JAZZ<br>五十嵐明要×杉原淳×原田忠幸<br>12月6日(火) 19:00~<br>6階 交流ホール 4,500円 | 全部で10,500円のところ<br>セット券 <b>8,000円</b><br>(約25%割引) |
|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|

### クラシックセット券 限定100セット 一般発売日:7月3日(日)

|                                                              |                                                                              |                                                                     |                                                                             |                                                   |
|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| ●オペラ<br>「カルメン」<br>10月2日(日)<br>15:00~<br>中ホール・大地<br>S席 9,000円 | ●サンクトペテルブルグ・<br>フィルハーモニー<br>交響楽団<br>11月2日(水) 19:00~<br>中ホール・大地<br>S席 10,000円 | ●カレファックス・<br>リード・クインテット<br>11月6日(日)<br>14:00~<br>6階 交流ホール<br>3,500円 | ●プラス・クインテット<br>ウィーン=ベルリン<br>2012年2月10日(金)<br>19:00~<br>中ホール・大地<br>S席 3,500円 | 全部で26,000円のところ<br>セット券 <b>20,000円</b><br>(約25%割引) |
|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|

各セット券について、詳しくはグランシップチケットセンター TEL.054-289-9000まで



JUST FINISHED!



奥田英人&ミッキー・カーチスさん 6.Feb. 2011  
大ホール・海での「スウィング・ジャズクラブ」サイン会にて。

読者 Presents



「しずおかの文化新書」  
「人はなぜ富士山頂を目指すのか」  
プレゼント!

静岡県文化財団発行、地域をめぐる知の冒険「しずおかの文化新書」より2月23日発売の『人はなぜ富士山頂を目指すのか』を3名にプレゼント。ハガキに住所、氏名、電話およびプレゼント名を明記の上、下記あて郵送を。(平成23年5月末日消印有効)なお、当選者は商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。  
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップG係  
TEL054-203-5714

MEMBERS 「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでいただくためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

■会員タイプ・年会費 (個人会員の初年度年会費は入会月により異なります。)

- ◆個人会員 年会費 2,000円
- ◆法人特別会員 年会費 200,000円
- ◆法人一般会員 年会費 100,000円

■特典

- ◆チケット割引10%割引
- ◆公演情報誌送付
- ◆法人会員特典 (情報誌上及びグランシップ館内に社名掲載)
- ◆チケット先行予約
- ◆提携店割引

(チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master他提携カードの利用可)

■お申し込み・お問い合わせ

グランシップ友の会事務局  
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップ3階  
TEL.054(203)5714 FAX.054(203)5716

〈友の会法人会員〉

静岡ガス(株)、(株)タミヤ、鈴与(株)、(株)静岡新聞社、静岡放送(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・コム、(株)劇団ひまわり、(株)ステージ・ループ、静岡県ビルメンテナンス協同組合、静岡信用金庫、(株)ビー・エー・シー、(株)テレビ静岡、(株)静岡第一テレビ、コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)、ダイドードリンコ(株)、(株)イノウエテクノ、(株)伊藤園、静岡エフエム放送(株)、(株)ニッセー日本平ホテル、(株)コスモ、公立大学法政静岡文化芸術大学、(株)静岡朝日テレビ、(株)天神屋、(株)望月商事

財団法人 静岡県舞台芸術センター 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5730 <http://www.spac.or.jp>

SPAC NEWS

# SPACは15年目を迎えます。

もっと愛される劇団へ、世界とつながる劇場へ——。SPACは変わります。

## SPACの会

平成23年度会員募集中!

NEW 個人会員(年会費10,000円)

NEW ゆうゆう個人会員  
(年会費9,000円)

※ゆうゆう個人会員はご入会時に満60歳以上の方が対象となります。

リニューアルで、もっとお得に!



「夜叉ヶ池」  
(2009年/演出:宮城 聡)



「ペール・ギュント」  
(2010年/演出:宮城 聡) 撮影:橋本武彦

## 割引システムが 新しくなりました。

お得な割引料金をご利用ください!

※各種割引を組み合わせてのご利用はできません。詳細はおたずね下さい。

- 学 割 NEW ゆうゆう割引
- NEW ペア割引 NEW グループ割引
- NEW 早期購入割引
- NEW リピーターくちコミ割引

「Shizuoka 春の芸術祭」改め… 9カ国11演目のラインナップ

# ふじのくにこせかい演劇祭

World Theatre Festival Shizuoka under Mt. Fuji 2011

## 6.4土・7.3日

チケット前売り開始 4月10日(日)

詳細はSPACチケットセンターまで TEL.054-202-3399

This theatre is  
Your theatre.

# SPAC

SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮城 聡

SPAC 検索



## TOPIC-1

## 2011の幕開けは音楽や能楽とともに



ニューイヤーコンサート

グランシップ2011年の音楽の幕開けは、1/7に開催の「静岡ガスパRESENTSグランシップ&静響ニューイヤーコンサート」から。日本を代表するソプラノ歌手、中丸三千繪を迎えて名曲の数々を



静岡能



手づくりミニ風呂敷数プレゼント

楽しんだ。また、1/23に上演された「グランシップ静岡能」では、着物での来場者に県内授産施設の手づくりミニ風呂敷をプレゼント。華やかな雰囲気会場を彩った。

## TOPIC-2

好天に恵まれた元旦。  
ご来光に展望ロビー開放

元旦に初日の出を拝もうと、早朝から多くの人々が訪れた10階展望ロビー。好天に恵まれた今年、グランシップ恒例の「初日の出特別開放」では、無料で振舞われたおしるこや甘酒とともに、来館者たちは富士山や日本平山頂からの初日の出を楽しんだ。

## TOPIC-3

静岡市商吹奏楽部  
「第50回定期演奏会」

1/15・16、大ホール・海にて静岡市立商業高等学校吹奏楽部による定期演奏会が行われた。第50回を迎える今年は、第1部に〈心のハーモニー〉と題したコンサートステージを、第2部、第3部ではそれぞれ〈希望〉〈輝き〉をテーマにしたマーチングステージを披露。多彩で華やかなパフォーマンスを約3,300人が楽しんだ。

## TOPIC-4

静岡デザイン専門学校  
デザイン・ア・ラ・モード2011

毎年恒例の同校卒業制作展が2/4～6に開催された。展示ギャラリーではイラストレーションや映像、家具やインテリア模型が、交流ホールではフラワーデザイン、ファッションビジネス展示がされ、中ホール・大地ではファッション&ヘアメイクショーが行われ、若いクリエイティブな才能を発揮した。



## TOPIC-5

## 富士山の日記念・富士見の祭典



2/23の富士山の日にちなみ、世界文化遺産登録へ向けて、グランシップでも「富士見の祭典」の関連イベントが多数開催。2/20には、富士見のイベントとして中ホール・大地で〈富士―日本のマドンナ 北斎の「富嶽三十六景」をめぐる〉と題した芳賀徹静岡県立美術館館長による講演のほか、伝統芸能・合唱・ダンス・和太鼓・ジャズの披露「ふじのくに芸術回廊フェスティバル」が行われた。また、展示ギャラリーでは2/20～27まで「秀景ふるさと富士写真展」が開催された。

## TOPIC-6

地域に根ざす文化力。  
第24回地域文化活動賞決定

静岡県文化財団では、県内各地で優れた文化活動を行っている文化団体を昭和62年度より毎年表彰。このほど今年度の受賞団体が決定した。なお、表彰式および活動発表会を3/13、11階会議ホール・風にて開催。受賞団体は以下の通り。  
〈地域文化活動賞〉島田鹿島踊保存会〔島田市〕  
〈地域文化活動奨励賞〉〈順不同〉SOLE(ソール)〔藤枝市〕／磐田オラトリオ研究会〔磐田市〕／御前崎伝統和船保存会〔御前崎市〕／特定非営利活動法人伊豆学研究会〔伊豆の国市〕／楽土舎 楽土の森プロジェクト〔袋井市〕  
〈地域文化活動努力賞〉おぐーんマプラスFUJI(フジ)〔富士市〕／芝居屋NYA-GO(ニャーゴ)〔榛原郡吉田町〕

## TOPIC-7

座席選択もOK!  
WEBでチケット予約・購入

平成23年度開催のグランシップ主催イベントを、グランシップホームページからチケット予約・購入ができるようになった。空席状況を確認しながら好きな席を選べるほか、予約したチケットをコンビニ(サークルKまたはサンクス)で受け取ることもできる。要利用登録(無料)。

GRANSHIP  
SHOW-WINDOW ALBUM

「グランシップアートコンペ2011」でグランシップ賞に輝いた4作品を季節ごとに紹介。3～5月は、布や液晶モニターの映像と半立体による『ソウゾウ、アフレル』を展示。作者いわく「クルクル」の世界が展開する。  
\*5月23日まで



テーマ／「ソウゾウ、アフレル」  
制作／鈴木 純

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、それぞれの心意気や感想、体験談をレポートします。

## SUPPORTER's VIEW

### 舞台づくりのドキュメント

本番前の緊張感を舞台製作者と共に。

第9期サポーター 撮影業務担当 沼田 章

グランシップサポーターとして撮影業務に携わり5年が経ちました。この間、たくさんの感動と発見がありました。

撮影業務には、静止画撮影と動画撮影があり、私は動画による記録撮影に参加しています。撮影業務は他のサポーターとは違う特別な感動を味わうことができます。それは舞台づくりを生で見られることです。

グランシップの自主企画イベントは、音楽や演劇など舞台公演が多く、大勢のスタッフが一つの舞台に携わります。私は舞台がどのように出来上がっていくのかに興味がありました。照明・音響・美術などの仕込みに始まり、リハーサル客入れ、本番、終演、撤収の順に進められ、撮影業務はその全ての記録を任せられます。つまり仕込みの緊張感を間近に感じ、出来上がっていく舞台を見ることが出来るのは撮影業務ならではのです。リハーサル中は出演者との距離も近くに感じられ、普段は味わえない体験ができることも魅力です。本番が近づくと緊張感が増し、現場はさらに熱くなります。そのようなヒューマンドキュメントの現場に携わる喜びと同時に、記録撮影として見落としや失敗は許されないと緊張も生まれます。そして、本番が終了したとき、舞台と共に感動を覚えます。

「本番前の

緊張感を舞台

製作者と共に

に……この喜びを今後も続けていきたい

と思います。



Report 051

## READER'S VIEW

●沼田早苗さんのインタビュー記事を楽しく拝見させていただきました。「楽しい仕事」と言い切れるのは、プロとしてさすがだと思います。デジタル化したこの時代の写真の存在について語る部分は、なるほどなと思いました。（中略）私も「静岡の魅力フォトコンテスト」にチャレンジしようと思っていたので、沼田さんのアドバイス、考えることができてとてもよかったです。（浜松市・せんべい一番さん）

●「G」の望月通陽氏の作品、表紙にいつも癒されています。静岡地元の望月氏ですが、静岡での展示会が少なく感じております。是非グランシップで展示会をお願いします！  
（静岡市・村松ひと美さん）

●連詩を心穏やかに読ませていただきました。昨年の11月の発表とのことでしたが、新年にふさわしい清々しい作品と感じました。特に四元康祐さんの詩はくり返し声に出して読むほどです。（「あつ、好き」と思い、お名前をみると「康祐」とありました）（静岡市・ゆうさん）

●今、東静岡駅ではガンダムをやっていますね。グランシップでももっとアニメ関連のイベントをやってほしいです。アニメイベントなら静岡のみならず全国から集まってくると思います。  
（焼津市・大石昌弘さん）

★グランシップおよび本誌「G」に関する「意見、感想、お問い合わせなど、皆さまからのお便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともありますが、転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

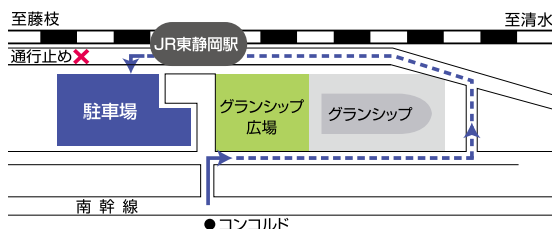
## Editor's room.....

グランシップ南側のショーウィンドウのための「アートコンペ」表彰式にあわせてのアーティストトークは、驚きと喜びのひとつでした。秋元雄史金沢21世紀美術館館長他、審査員一同が応募作品の数とレベルに喜んだ審査ではあったのですが、受賞者のトークはその作品に勝るとも劣らない興味あふれるものでした。すでに東京などで活動をしている若いアーティストの皆さんが、作品づくりにきちんとメッセージと社会性を持ち、夢を持ってそれを言葉で伝えることができる方々だと誰もが実感したのです。「友だちや両親が見にきてもらえる場所で発表の場を得られたのは、本当にうれしい！」素直に喜んでいただけたことは、スタッフ一同「アートコンペ」実施の甲斐があったと密かに喜んでおります。3月6日から、四季毎にご覧いただく4人の静岡県出身のアーティストたちの作品を、どうぞお楽しみください。

グランシップは4月から、これまでも増して静岡県に生まれ育つ子どもや若者たちが上質で多彩な芸術に出会える場所、活動できる場所を目指します。勿論、いつまでも子どもの心を持ちつづけている大人たちも歓迎です。笑顔と感動に出会える場・グランシップでありたいと願っております。

グランシップ館長 田村 孝子

グランシップにお越しの際は、  
混雑緩和のため、  
公共交通機関をご利用ください。



●ACCESS／東海道新幹線（ひかり）で東京から1時間、大阪から2時間。JR静岡駅下車。東海道本線でJR東静岡駅まで3分。東静岡駅南口に隣接。



あなたの暮らしのいつもそばに。

# 貯金もローンもJAバンク。



 **JAバンク 静岡**  
県下JA・静岡県信連

<http://www.jabank-shizuoka.gr.jp> または、インターネットで「JAバンク静岡」を検索!

JAバンク静岡

検索 



  
静岡県コンベンションアーツセンター

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者 財団法人静岡県文化財団 〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716

<http://www.granship.or.jp>